

社会教育委員会（平成25年1月31日委員会会議録）

月 日 平成25年1月31日（木）

場 所 保健相談センター

開 会 14:45

出席委員（15名）

①川田 修一	②足立 等	③田中 茂人	④徳山 恭介
⑤梶川 恵美子	⑥門脇 規矩子	⑦門脇 哲也	⑧江尻 安夫
⑨澁谷 博子	⑩佐賀 有道	⑪榎野 幹也	⑫岩間 悦子
⑬渡部 万里子	⑭盛山 啓二	⑮八重樫 吉一	（全員出席）

説明のために出席した者

教 育 長	佐々木 邦 広
教育委員会参事	門 脇 俊 史
生涯学習課長	池 田 明 世
生涯学習係長	片 寄 幸 江

傍 聴 者 松本 熙 氏

会議書記 片寄 幸江

報告事項（1）平成24年度社会教育事業概要について
（2）社会教育施設利用状況について

協議事項 社会教育施策について

閉 会 16:55

(14:45 開会)

生涯学習課長 開会

佐々木教育長 挨拶

徳山委員 成人式事業について。今年は13日に実施されましたね。米子市、鳥取市は3日に実施。前年度は9日でしたね。立命館大学、近畿大学にしても九州にありますよね。名古屋に就職された方は1回帰って再度戻って来ないといけない。就職組は成人式に出にくいと思う。要望はないですか。しかし、3日にすると米子市と重なり美容院が大変になり、やりにくいところがあるようだが。中日にしているのはいいとは思いますが、名古屋・東京等の学生は別として、就職組で出たい方には無理、という要望等意見はありませんか。

生涯学習課長 全くないわけではありません。以前何年かアンケートを実施し、今の時期になった経緯があります。先程のお話にあったように美容院が重なる等という理由も大半でした。今年は416人の成人の内328人、79パーセントの出席でした。去年は74パーセントの出席、今年は増えました。アンケートの結果も含めこの時期で良いと考えております。来年度の実施時期につきましては5月位に検討したいと思いますが、基本的には同じ時期になるかと思えます。

徳山委員

成人式の案内には幅広く出席依頼をしている。やはり、就職組のことも考え少数意見ではありますが、3日とかにあった方が出席しやすく、職場にも迷惑かけないのでいいのではないのでしょうか。また考えてください。

生涯学習課長

はい。

岩間委員

社会体育について。2月の市のスポーツ表彰ですが、児童・生徒は学校からの引率があるのでいいですが、一般の参加者が少ない。もっと参加してもらおうよう、体育協会から各団体に声をかけてもらおうようにしては、これが1点目。次に各施設の利用者数はどういうところから出てきているのか、これが2点目。3点目として施設整備、特に屋外の危険個所の点検等について。

生涯学習課長

まず1点目の市のスポーツ表彰について。体育協会が各競技団体に推薦をしてもらっています。今までは平日の夕方に表彰式をしていましたが、学校の授業もありますので、学校側としては土日を希望されています。また、保護者も参加したい、という意見もあり、今回は2月9日の土曜日になりました。出席にあたっては各競技団体にお願ひし、多くの方が参加していただくよう、声かけをしているところです。2点目ですが利用実績は体育協会から提出。幸神・渡体育館はそれぞれ管理しているところからいただいています。社会教育施設の屋外の危険個所についてですが、吊り天井や照明の落下等もあると思います。

今後、体育施設についても公民館と同様に耐震補強を予定しています。なお、市民体育館は、平成27年度に耐震診断を実施する予定です。機会を捉えて危険度の確認・適切な対応等、進めていきたいと考えております。

岩間委員 施設の点検について。危険個所の点検について、定期的か届出があった時のみ行っているか。

生涯学習課長 体育施設に限らず、ということでしょうか。

岩間委員 社会教育施設ということですか。

生涯学習課長 各施設の管理者が日々の運営の中で通常の点検や危険個所の点検を行っているところです。

岩間委員 常時管理者がいる所ならばいいが、いない所はどうか。具体的には竜ヶ山陸上競技場です。備品等について利用者が届け出て点検をするよりも、事故があつてからではいけないので、定期的に点検をしていただきたいと思います。それから、利用実績ですが、個人利用についても数に含まれていますか。

生涯学習課長 個人利用についても数に含まれています。

岩間委員 竜ヶ山陸上競技場ですが、常に何人かが利用されていますが、数に含まれていますか。

生涯学習課長 申請があった分です。竜ヶ山陸上競技場は自由に利用できるので、そこまではカウントされていません。

岩間委員 米子市の東山等は、利用者がノートに書いていて、個人的利用でも数字に出て利用実績に含まれています。管理者がいるところはわかるが、そうでない施設の利用について検討してみてください。

生涯学習課長 わかりました。

足立委員 基本計画は今までなかったのですか。

生涯学習課長 殆どこの内容に沿った形で実施していましたが、明文化していませんでしたので。

足立委員 ここに至って明文化した背景・いきさつを説明ください。教育長に何かお考えがあつてかと思ひまして。

佐々木教育長 市として方針を示す必要がありますので。大筋の方針を示させていただきます事になりますが。

足立委員

図書館について。今日は休館でしたので、市史編さん室で話をしてきました。東北の震災により公的な図書館・博物館の資料が散失等してしまい、資料修復するのに県単位でボランティアを募り市史、市の行政資料等図書館が収集しているあらゆる資料の修復をしています。これは大変なことだと思います。

今、工事中で放射線の測定施設ができるみたいですが、当市は災害の予測は頻度はないと思うが津波とか。放射線がかかってしまうとせっかくの市史編さんや図書館が本来持っている使命がどうなるのかが心配。図書館の利用率は2000年度から利用が3倍に増えている、ということだが。理由として、家庭にしながらパソコンで予約・横断検索が充実し、利便性もあり、司書の方が的確に検索してくれて利用サービスが充実しているようだが、当市ではどうなのか。幸いにも予約はできるが、県・中海圏行政単位でうたっているようだが。国会図書館との連携が夢。日本の文化的・美術的なものの閲覧ができれば。契約上の問題もあるかとは思いますが。調べることができるサービスを上手く告知していただければ。当市の公民館ではどうなのか。行政資料はどの程度図書館に集積されているのか。議会議事録・予算から当市がどういう志しで行政を行っているのか、集約されたものが図書館にある。これは図書館法で図書館から求められることができる、と聞いたことがある。図書館利用について、ハード面ではこれ以上、構造的に変えることができないと思います。子育てがしやすい、子育てするなら境港、という事をお聞きしたものですから。老年齢化している社会の中で、

図書館の役割が資源だと思います。志しの面での充実を図って
もらいたい、と思います。

生涯学習課長

図書館の古い資料のデジタル化に取り組んでいるところ
ですが、資料の数も多く選択も大変だが、有用なものや傷みの激
しいものから順にデジタル化しているところです。それを的確
に進めていく必要があると思います。図書館の利用について。
各家庭からインターネットで市民図書館の蔵書予約が可能です
。県の図書館についてもインターネットで予約し、市民図書
館で借りられるようになっていきます。他の市町村について市民
図書館にあれば借りられる、というよう連携をしています。た
だし、もう少し広域にしようとした時にはシステムの問題があ
るようです。

足立委員

契約とかするんですか。

生涯学習課長

いえ、システム、メーカーの違いもあるかと思います。

足立委員

互換性の問題ですか。

生涯学習課長

はい。県内は横断検索ができるようにシステム連携ができて
いるようですが、そのような課題もあるかと思いますがただそ
れも、技術が進歩していけば可能ではないかと思います。行政
資料について。定期的に行政史を編集しておりまして、35年、

45年、今55周年の行政史を作っているところです。行政史に必要な情報等が市史編さん室の方に残せないか、特に写真等に関して地域振興課が市報作成で使用した色々な写真の情報を市史編さんの方でいただいて管理しています。各部署の実務的な資料を市史編さん室で全部保管はできませんので、別の倉庫で保管し、必要時に探し出すことは可能です。

足立委員 それは上手く広報するのが1番だと思います。市民が見れるんですね。

生涯学習課長 定期的な市史を見ていただく。ただ細かいところまではページの関係もあり、盛り込めないのですが。大まかな流れ・取り組みの内容等、見ていただけるかと思います。

門脇規矩子委員 文化財の指定について。昭和62年に文化財のパンフレットを作られたと思うのですが、それ以降作っているのかとどうか、ということが1点。温水プールについて、八束町の温水プールを利用されている方が多いと市民の方からお聞きしますが、そういうところも考えていかなければいけないと思います。

生涯学習課長 文化財のパンフレット作成ですが、計画はしたのですが財政状況も厳しく至らなかったのですが、まずはホームページで文化財を見ていただける取り組みをしていきたいと考えております。最終的にはルートマップ的なものができれば、と思って

います。

門脇規矩子委員 よくホームページと言われますが、ホームページを利用できる方がどれだけいるのかを考えて欲しい。これだけ高齢者が多い中でどれだけおられるか。

足立委員 それは逆です。老齢の方が今多いですよ。

門脇規矩子委員 それに抵抗を感じております。

足立委員 今は両方ないとおかしいです。

生涯学習課長 各家庭への配付はできないかもしれませんが、生涯学習課で編集したものを公民館等に置く、等のやり方を考えていきたいと思えます。それから、温水プールについてですが、1つは高齢者の方の利用促進するために利用料金を安くする、のも考えています。温水プールも指定管理でスイミングスクールにお願いしているところです。協議し、考えていきたいと思えます。

足立委員 昔には戻らないですね。指定管理以前に利用していましたが。

田中委員 温水プールについて。65才以上は12時から15時までは300円。通常は520円ですよね。時間で区切るのではなく、1日取っていただきたい。私も健康づくりのため行ったのです

が協会が管理していますから入りにくい、実際。その点、大根島は良いですわ。安くて風呂もついて入りやすい、だから利用が多いと思いますよ。指定管理、と頻繁に言われていますが、やはり市民のためにですよ。去年でしたか、65才以上が3千万でしょ。高齢者に健康であって欲しいと一生懸命に言われますが実際にそうになっていないと思います。九州の友人は65才以上はタダと言いますよ。そのために健康管理ができる、と聞きました。境港はちょっと。3万5千人の人口に65才以上がどれだけいますか。健康維持が必要ではないですか。以上です。

生涯学習課長 有り難うございました。検討していきます。

岩間委員 中身や方法等を是非検討して欲しい。

生涯学習課長 わかりました。

渡部委員 基本的なことを。基本計画は何年から何年まで、という決まりはなく、これをベースにですか。

生涯学習課長 必要な都度、年次的に見直しを図っていきたいと考えております。

渡部委員 いつまで、というのではなくて。

生涯学習課長 特に。今回の計画は変わらない重要なものだと認識しており、進めていきたいと考えております。

渡部委員 重点目標と書いてはありますが。個別に具体的には。基本計画の具体策は特別には設けないのですか。

生涯学習課長 分野ごとに細部・詳細を考えております。それは順次整備していきたいと考えております。

渡部委員 これから整備されるのですね。1つご提案させていただきたいのですが、子どもたちと携帯・インターネット、メディアとの問題を個人的に非常に心配しておりまして、先日、中学生がゲームサイトで出会った警察官に犯罪に巻き込まれるような事があり、鳥取県ではありませんが。中高生が携帯、スマートフォン、ゲームを通じて知らない大人と出会い犯罪に巻き込まれることが多い。反面、先程高齢者の方がホームページを利用できない方もいるとありましたが、まだ使えない方達の問題、メディアの問題を市・社会教育として取り組んでいくべき課題ではないか、と思います。親子関係、ネットを通じてのいじめ問題も多いですし、できることなら5年間位重点的にまちをあげて取り組むと色々な意味で良いのではないかと思いますので、どこかで盛り込んでいただきたい。

境港市の乳幼児期、子育て支援課は、市内の保育所でノーメディアデーを毎週・毎月等、3年間位続けています。

小学校に上がった途端になくなってしまふので是非、地域の公民館も協力、連携して欲しい。テレビやゲームが悪いからやめるのではなく、どうやって付き合っていくか、ということです。正しい使い方を大人も含め、まさに社会教育の中で取り組んでいけたら、と提案します。

生涯学習課長

有り難うございます。今回、骨子でありますのでその辺を十分説明できていませんが、子育て支援の中でもお子さんをお持ちの親御さんにインターネット、ゲーム等に対する課題等、提案していきたいと思っています。青少年育成事業の中でも触れていきたい、と考えております。今度講演会があります。

生涯学習係長

2月27日に南部町教育委員会に福田範史先生に「ネット社会と子どもたちの関わり」について午後7時～8時30分まで保健相談センター1階の講堂で開催します。内容は渡部委員が言われたように、携帯・インターネットに対しての正しい関わり方や家庭についての取り組み方、等お話していただきます。市報2月号でご案内しております。皆様よろしく申し上げます。

佐々木教育長

この件につきましては、学校の方でも問題意識を持っております。川田校長、何かありますでしょうか。

川田委員

新入生が入ってきますが、インターネットや携帯の問題については、学校現場でも困っています。そこで警察・サポート

センターの方から来ていただいて新入生・保護者の方に話をさせていただきたいと考えております。学校の子どもたちについてですが、去年は県警のサイバー担当の方に来ていただいて講演してもらったのですがなかなか親御さんにわかってもらえない、というか。子どもを良くするには難しい。悪い子に育てるといっておかしいのですが、携帯を持たせると悪くなるのが間違いない。最近、スマートフォン等、パソコンのついたような携帯でより一層の危機感を学校として持っています。

渡部委員

子どもだけの問題ではなく、大人の問題でもあります。意外と使っていない高齢者の方が孫にねだられて買ってやる事があるので、幅広い年代で考える機会を持つ必要があります。子ども達に言い続けてもなかなか面白いものなので難しい。

八重樫委員

公民館の方では、スマートフォンとパソコンがいかに怖いか、というパソコン講座を開いています。年配者の方も勉強していますので、みなさんも講座等、参加されたらいいのではないのでしょうか。

澁谷委員

思うのですが、福田先生の講演を受けた時に感じたのが、保健相談センターで実施しても大体このメンバーで、お母さんやお父さんは集まりませんので公民館で試してみてもどうでしょうか。これは、親御さんに来てもらわないといけない。

八重樫委員 まず親ですよ。子どもの方は親より勉強しているんですよ。
だから親も勉強しないと。

澁谷委員 何とかして親御さんを動員しないといけない、とつくづく感じました。

門脇規矩子委員 社会教育の会は1年に1回開かれ、こういう問題がでますが、これに対して次の会の時に昨年はこの問題が出ましたのでこういう風に取り組みました、という返事を1度ももらったことがない。きちんと報告すべきことだと思います。皆さんはどう思われるかわかりませんが。例え1つでも解決していくような取り組みを行っていくべきだと思います。

門脇哲也委員 それに関連していいですか。この度の社会教育委員会ですが、教育長さんが働きかけて初めて基本方針がこういう風にきちんと作られました。これが初歩です。過去の社会教育委員会は、ずっと1年間の報告で終わっていました。本来の社会教育委員会は教育委員会側から学校教育に対して社会教育の問題、今の携帯・パソコンの問題等を社会教育委員の方に調べてください、勉強してください、提言してください、と言う会にしないといけない。今までのように年1回の会で何となく行政側からの報告を受けて終わり、というものでは社会教育委員の意味がない。もう1つ皆さん方をお願いしたいのですが、県や県公連主催の研修会が年1回開催されますが、社会教育委員さんは殆ど参加

しておられない。確かに仕事があり、平日だから出れん、と言われると仕方がないが。年に1回ですから。本当に社会教育委員とはどういう役割をしているか、という事を勉強してもらわんといけない。もう1つは、昨年体調崩して入院していましたが、松江市で中四国、持ち回りの研修会が2日間あるんですが、境港市は予算をつけていない。鳥取あたりはバス1台、二日間社会教育委員さんみんな行って研修されています。四国の時も日吉津は研修だからと、社会教育委員さんがみんなで行っておられます。やはり委員になったからには社会教育に関して提言等、しないといけない。渡部さん言われましたが、インターネット・携帯本当に物凄い被害がありますけれど、肝心の親が出て来ない。それについても、皆さん方がこうすれば親が出てくるのではないかと考えたり、地域に帰って親に言ってもらう、それ1つやっても社会教育委員の意義があると思う。今後の委員会はそういう形で教育委員会側からも、こういう事を提言・提案して下さるようにもう少し勉強してもらってください。そういう場になれば良い委員会になるのでは、と思います。

佐々木教育長

有り難うございます。市の方にご要望等あれば出してもらえば、と思いますし、今こうやって各団体を代表し来られている方や、学識経験のある方の中から色々な意見が出る中で、携帯・インターネットの問題が出ました。私も何年来の大きな課題だと思っていますし、実はこの1、2年でさらに緊急性が増しました。

子ども達の携帯がすごい勢いでスマートフォンに切り替わっています。少し前はメールによる意地悪、ゲームサイトから広がっていき、スマートフォンになることでさらに厳しい状況になっています。全てを把握していませんが、学校、PTA、公民館、青少年育成関係の方もおられます。それぞれが一緒になってできること、それぞれ別々にやるべきことの中で1つ、携帯・インターネットの問題が出ましたが、これにつきましては各団体が持ち帰られて今後、学校、PTA、公民館等協力することがあろうかと思いますが、検討していただけたらと思います。我々も検討して参りたいと思います。そして何らかの形で来年度の会で報告できれば、と考えております。有り難うございました。

門脇哲也委員

提案ですが、携帯・インターネットの問題がクローズアップされ、何とかしないといけないということになれば、市の方からの予算はないとは思いますが、25年度のいつかこのことについて会議を持とう、とか社会教育委員として持てばいいと思う。その中で、やり方や講演会等の内容について色々なご意見をいただき前向きに行えば、ますます良い会になるのではないかと私は思います。検討してみてください。

生涯学習課長

社会教育委員の役割として門脇委員言われたように委員さんの方から色々な提言をいただく、という1つの役割がある、ということは私自身も認識はしていました。

ただ、今までのこの会の運営の仕方が年1回の形でしかしていませんでしたので運営も見直し、例えば年2回やる、1回目にこういう話しをし持ち帰っていただき、2回目で色々な提言をいただく、等そういうやり方があるのでは、と私は思っていました。準備ができていなかったのが確かです。今後仕組みについて考えて行きたいと思います。

門脇規矩子委員 よろしいでしょうか。図書館協議会でもこういう報告だけの会だったです。報酬出ますよね。年1度は視察をしています。報酬が出なければ委員が参加しない、という考え方は見直すべき。報酬を出すから皆さんが集まるのではなく、例えば1回は報酬出すけれど後は出ません、それでも参加していただいけませんか、というような形を取るべきではないかと思う。

足立委員 報酬があるから皆さん出ているわけではないでしょう。それは違いますよ。

門脇規矩子委員 それは違います。報酬を出さないといけないと思われなくてもいいのではないか、と思うんですよ。

門脇哲也委員 行政側の考え方ですね。

足立委員 資料でもそう。4日前程に届きました。以前は初見、ということもありました。初見で説明受け意見を、というのはとんで

もない。改善はされてはいるが、今すぐできることであればもう少し事前に資料をいただき、問い合わせは電話で受ける、ということではどうでしょうか。基本方針の明文化には積極性は感じるが、年に何回は集まる、報酬をどうするかということより、今できることはそういうことではないでしょうか。

生涯学習課長 資料発送遅れてすみません。少なくとも1週間前には送付させていただき、皆様のご提案等を持ち寄っていただけたらいいのではないかと、またその時の内容で1回・2回、となるのではないかと思います。

足立委員 それぞれの得意分野があります。

榎野委員 予算がなくても行えるような方策を検討してみてください。今、携帯・スマートフォン等の良い課題が出たのですから。やはり前回の結果がどうだった、という事を話し合うためにもう1回会議を開催するべきではないでしょうか。

生涯学習課長 わかりました。

澁谷委員 福田先生は県下を回っておられます。2月27日の講演会で知識を得た上で、できる事をお手伝いさせていただきたい。

門脇哲也委員 渡部さんは福田先生と同じ資格を持って県下を回っておられますよ。

澁谷委員 提案しようと考えていました矢先に今日感動した事がありました。境港市の歌について。読み聞かせで上道小学校の2年B組へ行きました。教室に市の歌が貼っています。生徒さんに聞いたら今月の歌、ということで曲が流れ始めました。読み聞かせ終了後、先生が声がけをしてくださり歌ってくれました。姿勢もメロディーも良くて素晴らしく感動しました。カセットテープは配付されていますか。

生涯学習課長 公民館、学校等に配付しています。

澁谷委員 他の市町村は、夕暮れ帰宅のメロディー、成人式等で流しているようです。素晴らしい市の歌をもっと流しては。

生涯学習課長 境港市の行事の中で市の歌を歌ってしまして、成人式でも合唱団が歌いました。

澁谷委員 一緒の読み聞かせのかっぱ隊の方がわかとり国体の時に特訓されて得意である、と言われ驚きました。

盛山委員 小学校の方にも CD が配付され、当時は朝と昼休憩時に流していました。学校では歌詞と楽譜が貼ってある位です。

今月の歌で上道小学校が実践され、少なくとも1ヶ月は歌っている、ということですからね。

澁谷委員

生徒さんはみんな覚えて歌っていました。自然に耳で覚えたそうです。

盛山委員

小さいころに覚えた歌、というのは本当に覚えています。今月の歌は流れているのを耳から聞いて自然と覚えていくものです。校長先生の方々にも紹介させていただきたいと思います。

澁谷委員

更生保護女性会は昨年度から薬物乱用防止活動を重点的に行っています。県下には市町村薬物乱用防止指導員が委嘱されています。私もそうです。小・中学生向けの薬物乱用防止読本をもとに12枚の紙芝居を作り、昨年は上道小学校の校長先生に依頼したところ快く受けていただき6年A、B組各1時間ずつさせていただき、余った時間で標語を作ってもらいました。標語が素晴らしかった。昨年の10月31日の記念式典にも貼らせていただいた。全校生徒にもお配りしたし、10標だけ選んでいただきました。上道小学校ではずっと貼ってくださっていてまた感動しています。昨年保健所で米子市の村松ひろしさんが悪魔の遊園地という大きな紙芝居を作っておられて、貸出可能とのこと。A2サイズ、鳥取県産の木枠で作っておられます。県のPRが良くないのか誰も貸出がない、とのこと。今年は標語作りはやめてこの紙芝居を使うことで上道小学校

の校長先生に依頼しました。2月に6年生のクラスでさせていただきます。この紙芝居を公民館・学校も大いに利用していただけたら、と思います。お願いします。

盛山委員

毎年、小学校・中学校でもそうだと思いますが、サポートセンターの指導員が来られたりして非行防止教室を行っています。携帯・インターネット等、様々な問題等がありますが、そういう資料があることを校長会でも話をしたいと思います。

川田委員

中学校では薬物乱用防止どこでもやっています。やり方は違うにしろ、米子のサポートセンターにより実施しています。

門脇哲也委員

サポートセンターの足立さんは足立さんで、澁谷先生のようなまちのおばさんが話をされると子ども達には頭に入りやすいと思う。機会があればどんどんお願いします。各公民館・学校等に出前でよろしくお願いします。

佐々木教育長

この社会教育委員会の場には学校の校長先生もおられます。学校教育の中での心の教育が、学校内ではなかなか難しくなってきました。子ども達の教育は学校と保護者だけではなく、地域の方も積極的に関わっていただくことが大事。運動会、職場体験もそう、子ども達も社会の中に出て行って、それぞれの社会の方々はその立場で関わっていただくことがこれから必要になっていくと思われます。ただ、学校の中身をご存じない方が

多く何かあればすぐに学校批判に繋がっていきます。ところが学校に来られ、教師の生徒に対する接し方、教育の仕方を見ていただきますとその中で共感できる点や意見を言う面、が出てくると思います。境港市は年2日一斉公開日を設けていますのでお近くの小・中学校にお出掛けくださるとともに、その2日だけではなく校長に連絡を取って行かしてもらってもいいですか、と子ども達の様子を見せてもらい、社会教育委員の誰々ですが、と少しでも校長と話をしていただけたら理解が深まると思っています。ただ学校は1年間のカリキュラムを組んで進めています。社会の側から学校に対するニーズがすごく高まっていますので、薬物乱用防止教育等必要なものですが、環境教育、防災教育、国際理解教育、租税教育、社会保険教育等色々依頼があり、学校が全部やっていたら本当に回りません。今この時期の子ども達にこういうものが必要である、という内容の薬物乱用防止教育は小学校の何年生位に適切であるか、等校長とともに相談していく。学校も夏休み前には作文・絵画等コンクールの案内が沢山来るが全部はできないが、それは学校に意図があつてのことですので、是非学校に出かけていただき話を聞いていただけたら、と思います。上道小学校をほめていただき有り難うございました。北米 120 周年事業で6名来日され、上道小学校、上道公民館に来られ、感動して帰られました。各小学校それぞれが地域の方々と関わりを持っておられます。ご自分の校区以外の学校にも行かれ見てください。よろしくお願ひします。

江尻委員 学童保育について。上道では、1年～3年で20名位。他の学校はどうなっていますか。なくす方針か枠を広げるのか。

門脇参事 なくす考えはありません。ただ幅を広げていますが、施設の方が一杯で、施設から作っていかないといけないので難しい。

江尻委員 継続性で施設が受け入れる人数は継続されていきますか。

門脇参事 基本的にそうです。

江尻委員 中学生のボランティア活動参加の主旨は。去年からですか。

川田委員 学校によっては違っていますが、上道は以前から親子で参加しよう、という主旨で実施していました。二中の時は中浜、余子は以前からありました。小学校の方もボランティア活動をとということで盛んにしようと地域に出るようになった。ようやく運動会、公民館の手伝いについて、殆どの公民館で出るようになったのではないかと把握しています。

江尻委員 上道は大体参加してもらっていたが。渡か外江では中学生が沢山来られて困惑されていた、とお聞きしましたが。地区の方も、せっかく中学生がボランティアで来られるならばそれなりに出れる競技について増やす等、考えていかないといけない。

川田委員

境は公民館の方から1年生を、という学年指定があります。

佐々木教育長

地域の運動会は、今は中学生がかなり参加するような状況にありますが、20年前位を振り返ると少なく、私服参加だった。地域によっては中学生の参加種目をなくしてしまおう、という話もあったと把握しています。その中で、中学生を積極的に地域の一員としての自覚を持って参加させられる方法はないだろうか、という取り組みが弓浜半島・米子市内でもかなり広がってきています。中学生を大人扱い、役を与えていきます。本当は地区の運動会は大人だけでやった方が楽です。手もかかりますが、地域の大人と中学生の関わる機会はここでしかない。ご無理を申し上げ、市内の運動会を同じ日をお願いしています。中学校はその日は部活動を中止にさせます。新人戦の関係で土日は練習においては必要ですが、地域に子ども達を参加させることが大切だと、学校の方でも運動会に行くように指導しています。その面で増えてきました。当日回ると、地域によって活動内容が違います。様々です。人数の少ない誠道小学校では中学生になったら運動会に参加するのは当たり前、ということになっています。外江は100人近い子どもがいます。役員であるという意識の上、体操服を着て参加します。中学生への声かけがあります。地域によっては、高校生になっても来ていいですか、という生徒もいるようです。高校生になっても地域と繋がることがあれば、この子達が大人になった時に地域と繋がる良さを感じます。親御さんになってPTA活動に参加される

方は自治会活動に参加されます、地域で繋がっていますから。自治会の加入率が80パーセント程度と聞いておりますが、それが高いか低いかわかりませんがさらに上を目指し、種まきのような仕事だと思っています。

榎野委員

外江は100人位中学生来ています。できるだけ中学生を役員にと、大人とペアを組んで行っています。人数が多いとどうしても持て余す時間が出てくるかもしれません。自治連合会からも昨年から運動会の日を5月の第2日曜日に決めて学校の方に協力をお願いしています。是非どこの地区も協力していこう、ということです。自治会加入率は実際には70パーセント位です。将来的なことを考え参加していただけたら、と考えています。渡・外江地区は11月、12月にけやきの掃除を行っています。これに中学生を、と取り組みつつあります。中学生が自然と出てきてくれるようになれば良い事で、お年寄りとの会話も弾みます。

門脇哲也委員

青少年育成関係で高校生マナーアップ運動があります。境港は、どこの校区も子ども達は挨拶ができています。小学校よりも中学校が良いです。境の子はどの子も挨拶をしてくれるが、米子から来る子は挨拶に元気がないです。ですから、地域をあげて公民館・自治会・学校で色々な人が地域の子どもを育て、それにより地域が活性化されると思います。子育て、インターネットの問題等子ども達が被害に遭わないように育てて

いかなければならないと思います。これから社会教育委員さんの役割は重いものになっていくと思います。よろしくお願ひします。県の社会教育委員連絡協議会に出た時に、社会教育委員会は年1回で何にもしない、というのが殆どの町村とか。ところが、三朝町とか日吉津村はしっかりしていて、1、2年かけて問題を調査してきちんと教育委員会に提案している、と聞いています。やはりそういう市町村に行って勉強させていただくのも必要ではないか、と思います。

生涯学習課長

有り難うございます。長時間にわたり貴重なご意見をいただきまして有り難うございました。新たな課題をいただきまして、社会教育委員会の運営の仕方、施設管理、図書館の利用、インターネット等の問題。2月27日の育成講演会に是非参加していただきご意見をいただけたら、と思います。やり方を検討していきます。皆様には、ご意見・ご提言をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。

佐々木教育長

西部医師会と学校保健会という団体で、2月28日市民会館で竹下和男先生の講演会が開催されます。今度、学校で給食が始まりますが、給食をやっていく中で親と子どもの繋がりについてお話があると思います。参加しようと思われる団体の方がおられたら、教育総務課までご連絡をお願いします。

(チラシ配付)

(16:55 閉会)